

世界のBEVの普及の加速化と 日本における状況について

脱炭素社会における個人での移動手段。

世界に目を向けると、近距離では自転車交通が新しい時代を迎えています。中距離では内燃機関を持たない電気自動車（BEV=Battery Electric Vehicle）で賄われることが、これからの将来のほぼ既定路線となっています。

日本では2010年から本格的な量産のBEV、日産リーフが世界に先駆けて普及をはじめましたが、車本体の価格や連続走行可能距離、充電スタンドなどの課題ばかりが大きな障害だという認識が社会に広がり、ここ数年で革命的に普及されている世界のBEVから周回遅れになったような状況に甘んじています。

今回は、産業技術総合研究所で長年太陽電池の研究者として従事されてきた櫻井啓一郎氏をお招きし、世界や日本でのBEV車の市場や政策、急速充電スタンドやバッテリーなどの技術面での最新動向について、レクチャーをしていただきます。

櫻井さんは近年、BEVの世界的な動向をウオッチされています。また、ご自身もBEVに約7年乗っている経験から、実際の利用の状況における現場の声や政策、そして技術に及ぶまで、皆さんのBEVへの疑問や不安(?)にお答えします。

2022年8月4日(木) 18~20時 開催

- ① 「世界のBEVの普及の加速化と日本における状況について」(60分)
- ② 代表村上とのディスカッション(30分)
- ③ 質疑応答(30分)

Zoomにて開催

事前申し込み要 CVサポーター及び自治体会員のみ
参加費無料 (法人および自治体の方は3名まで)



櫻井 啓一郎

博士(工学:京大)。独ハーンマイトナー研究所客員研究員、米国国立再生可能エネルギー研究所客員研究員等を経て、現在産業技術総合研究所安全科学部門主任研究員。太陽電池の研究に20年ほど従事した後、現在は地域の脱炭素化の研究に従事。中古の日産リーフ愛用。ガソリンスタンドで洗車ついでに空気入れを頼みたいが、ガソリン買わないので気が引けるのが目下の悩み。

■ 問い合わせ・申込み先 ■

一般社団法人クラブヴォーバン

Email mail@club-vauban.net

①ご氏名 ②ご所属(法人および自治体の方) ③メールアドレスを明記 後日参加に必要な情報をメールにてご連絡致します